

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	市勢要覧作成事業		コード	05-01-01-06
			担当課・係	企画課 広報統計係
事業実施期間	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり	担当者	下林博樹
	中項目(基本施策)	住民主体で進めるまちづくり	電話	64-1806
総合計画 事業(政策)体系	小項目(施策)	公聴広報		

事業について	
目的 (何のために)	合併後の新市を紹介する資料として、市勢要覧を作成する。
対象 (誰・何を対象に)	備前市をよりよく知ろうとする市民及び市外の備前市に関心を持つ人々
内容	「海とみどりと炎のまち～人が元氣 笑顔あふれる～」を基本理念とした新市まちづくり計画に基づき、市民が主体のまちづくり実現への取り組みを中心に紹介した要覧を作成する。

事業の結果				
実施項目	17年度	18年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)	
ページ数(本文)		48 ページ		
ページ数(資料)		8 ページ		
部数(本文・資料)		2,000 部		
部数(ダイジェスト)		2,000 部		
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等
	人件費	委託費負担	人件費	委託費負担
	合計	市債	合計	市債

必要人員		人	0.32	人
結果指標	結果指標名	部数		
	結果指標量	2,000		
	単位	部		
	対前年比	-		0.00%
	活動にかかるコスト	円	2,612,000	円
	単位当たりコスト	円	1,306	円
結果指標	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト	円		円
	単位当たりコスト	円		円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	市民が主体のまちづくり実現への取り組みを中心に紹介した要覧を作成。		
成果指標名	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量			
対前年比	-		
到達目標値		到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等: )	妥当性評価<A~E>	C
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	市民が主体のまちづくり実現への取り組みを中心に紹介した要覧を作成した。新市を紹介した市勢要覧であるので、よりよく知ってもらうのに効果があった。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	プロポーザルによる業者選定を実施したことから契約額が予算を大幅に下回った
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	平成19年3月末に完成し、関係者への配布を完了した。冊子は、無料とし、総量は実費とした。
-----------	--	---	----	--

目標値	結果指標量	結果指標量
-----	-------	-------

総合評価	市民が主体のまちづくり実現への取り組みを中心に紹介した市勢要覧は、新市を紹介する資料として活用されている。	評価区分<A~E>	C
------	---	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果